

東 風平の石獅子



東の石獅子



西の石獅子



南の石獅子



北の石獅子

東風平集落には、東西南北に村を囲むように4体の石獅子が残っています。東の石獅子、西の石獅子、南の石獅子はヒーザン（火山）といわれる八重瀬嶽（岳）に向かって置かれています。北の獅子は、近くのガン屋（遺体を運ぶための道具「ガン」を保管している小屋）に向かって置かれています。



伊 覇の石獅子



伊覇の石獅子には、「その昔、伊覇村の家は西向きに建っていましたが、西向きは成功しないということで、家を東向きに建て替えました。しかし、村の東側には糸数のヒーザン（火山）があったため火事が多くなりました。そこで村の外れの小高い丘にヒーゲーシ（火返し）と魔除けの石獅子を置くと、火事も少なくなった。」という話が残っています。

志 多伯の石獅子



西の石獅子



南の石獅子



東の石獅子（夫婦獅子）



北の石獅子

現在、5体の獅子が残っていますが、それぞれのつくりが似ていないため、作られた時期はバラバラと考えられています。また、集落東側の獅子はついにっており、夫婦のようです。

